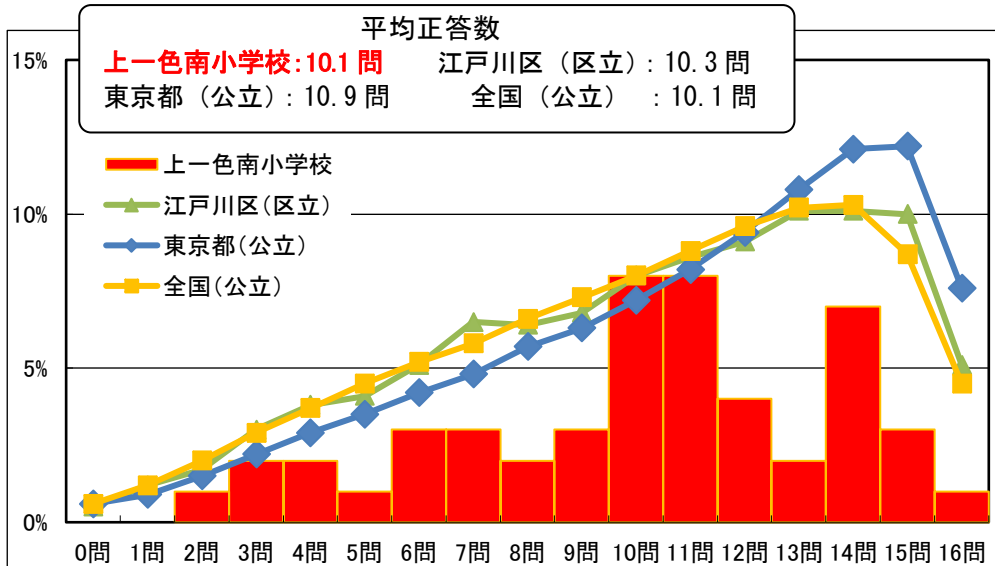


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 上一色南小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

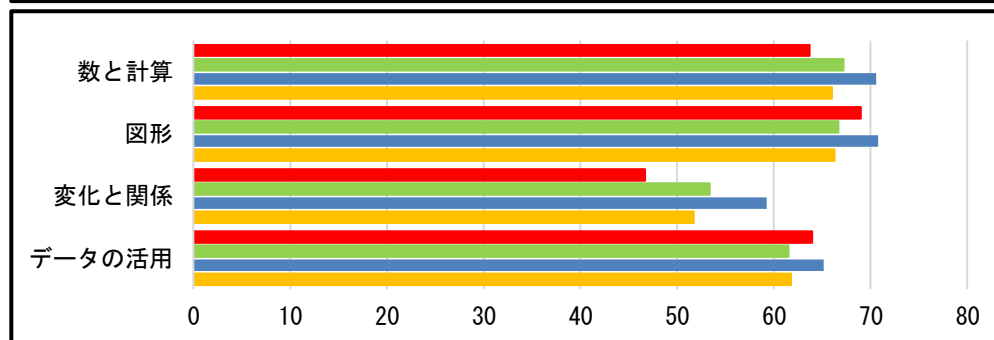
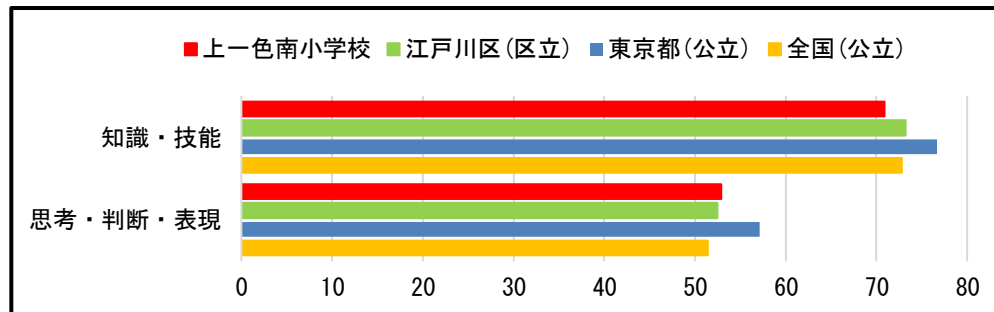
算 数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16 問	B層 12~13 問	C層 8~11 問	D層 0~7 問
上一色南小学校	22.0	12.0	42.0	24.0
江戸川区 (区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都 (公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国 (公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

## 【平均正答率の差】

上一色南小学校	63%
江戸川区 (区立)	64%
東京都 (公立)	68%
全国 (公立)	63.4%
都との差	5ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

四分位における割合では、C層の割合が高くなっているが、同層の中でも正答率の高い児童が多い、そのため全体の平均正答率は全国値と同等となっている。あと少しで上位層に至る児童が潜在的に多くいると考えられる。

また、グラフの読み取りや図形の問題の正答率が高い反面、割合や数量関係に関する問題の正答率が若干低めの傾向がみられる。数直線図やテープ図など問題内容を視覚的に理解し、適切な立式ができるようにするための取り組みを進めていく必要がある。